別紙２

異文化理解促進プログラム協力講師　自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：張　晨陽（チョウ　シンヨウ）
職業：学生
所属：広島大学　医系科学研究科
専門分野：医化学　薬学
日本語レベル：N1
英語レベル：TOEIC 860

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

高校時代に日中国際交流基金の交換留学プログラムを通じて、1年間日本に留学しました。その経験を通して日本の文化や生活に興味を持ち、大学進学を機に再び来日しました。大学では薬学を学び、現在は広島大学大学院の修士課程に在籍し、医学分野の研究に取り組んでいます。

大学在学中には、ロータリーの奨学生として支援を受け、現在もロータリーとの活躍を続けています。また、大阪国際交流センターの活動にも参加し、大阪の小・中・高校生を対象に、中国をはじめとする外国の文化について紹介する授業を行いました。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：
中国の文化や言語について、日常生活や習慣など身近な話題を通して、楽しく学んでほしいと思っています。また、私自身の日本での留学経験を紹介しながら、文化や価値観の違いについて理解を深めてほしいです。
交流を通して、異なる文化を尊重することの大切さを感じ、海外や外国の人々に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

中国の長春出身の張晨陽と申します。現在、広大の医学分野を専攻している修士１年生です。

私は高校時代に１年間、日本へ交換留学した経験があります。そのとき、日本の文化や生活に触れ、多くの人々と交流する中で、日本への興味がさらに深まりました。この経験がきっかけとなり、大学進学の際にも日本への留学を選びました。大学では薬学を学び、現在は医学に関する研究に取り組んでいます。

趣味は旅行、登山、キャンプ、サイクリングです。特に旅行が好きで、さまざまな場所を訪れ、その土地ならではの自然や文化に触れることを楽しんでいます。また、旅行を通して新しい人々と出会い、異なる価値観や考え方を知ることにも魅力を感じています。

日本での留学生活を通して、専門知識だけでなく、文化や価値観の違いを理解し、お互いを尊重することの大切さを学びました。これからも勉強や研究だけでなく、国際交流活動にも積極的に参加し、さまざまな国の人々との交流を深めていきたいと考えています。そして、将来は中国と日本の相互理解を深め、両国の架け橋となれるような存在になりたいと思っています。

